

衆議院議長 殿

2018年 月 日

参議院議長 殿

請願団体 一般社団法人 全国腎臓病協議会

住 所 東京都文京区本駒込2-29-24
パシフィックスクエア千石802

電 話 03(5395)2631

請願人氏名 (印)

住 所

ほか 名

紹介議員

(印)

「腎疾患総合対策」の 早期確立を要望する請願書

請願の趣旨

我が国では腎疾患（腎臓病）患者は1,300万人を超えていると言われています。腎臓病は「沈黙の病」ともいわれ、早期発見が大変難しい病気であり、いったん発症すると、長期にわたり根気強い治療が必要となります。また、腎臓病は重症化しやすく、末期腎不全まで至ると生命を維持するために人工透析治療を続けるか、腎臓移植をするしか方法はありません。

そのような腎臓病患者を一人でも少なくし、国民が健康な毎日を送るためには、腎臓病を発症してからの対策、医療ではなく、発症を予防するための施策が重要です。また、腎臓病を発症したとしても、医療と施策によりその重症化をとどめることが必要です。

近年、糖尿病の合併症として腎不全を発症する患者が増加していますが、腎臓病はもちろん、糖尿病も決して生活習慣だけから発症する病気ではありません。発症の原因を、患者個人の責任にするだけでは腎臓病患者はなくなりません。広く国民的課題として、国を挙げた取り組みが必要です。

また、腎臓病患者の高齢化が著しく、通院をはじめ療養生活に課題が山積しています。これは超高齢化社会であるわが国において、すべての高齢者にも共通する問題です。患者がよりよい生活を送れる社会の実現は、国民が安心して充実した毎日を送れる社会の実現にもつながります。

全国腎臓病協議会では、腎疾患分野における保健・医療・福祉の一体的な対策である「腎疾患総合対策」が早期に確立されることを願って、日々の活動に取り組んでいます。その結果、慢性腎臓病（CKD）の重症化を防ぐための施策をはじめ腎疾患対策の予算化などが実現しています。しかし、十分かつ有効な「腎疾患総合対策」が実現しているとはまだまだ言えません。「腎疾患総合対策」が確立し、国民が腎疾患から守られる日が早く達成されるように強く要望します。

請願事項

- 1.腎臓病の早期発見と重症化予防に向けた総合的な対策が進むように努めてください。
- 2.腎臓病患者が必要な介護支援を受けられる介護保険制度になるよう検討してください。
- 3.透析患者で通院困難な患者の通院を保障する体制と必要な時に入所・入居できる施設を公的に整備するように努めてください。
- 4.広域で大災害が発生しても人工透析治療を受けることが出来るよう、国、地方自治体が連携した災害対策への取り組みに努めてください。
- 5.腎移植の推進及び再生医療の研究が進むように努めてください。

氏 名	住 所
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県

- 氏名・住所は署名人ご本人の自筆でお願いします。
- 住所は都道府県名からお書きください。姓・住所が同じでも「//」、「同上」などで省略しないで下さい。
- 裏面の請願人氏名、住所、紹介議員は記入しないでください。